

# 石 二 小 だ よ り

第42号 平成28年11月7日(月)発行 文責:鈴木

【電話】0244-22-2724 【ホームページ】[http://www.minamisoma.gr.fks.ed.jp/?page\\_id=145](http://www.minamisoma.gr.fks.ed.jp/?page_id=145)

平成28年度重点目標「考えをつたえ合おう」

## 森の恵みを生かして



1日(火)には相双地方森林組合の方にお越しいただき、1・2年生が森林学習に取り組みました。この日は、間伐材を利用した木材片をたくさん持ってきていただきました。木材は丸や三角、星形など様々な形に切っているので、それらを組み合わせて自分の思いを台木に並べました。何度もデザインを確認しながら、ボンドを使って木材を貼り付けました。それが乾いたら上部にひもを付けて、ぶらさげられるようにしました。一人一人の豊かな発想を生かした作品が、いくつもできあがりしました。木は、私たちに必要な酸素を生み出してくれるだけでなく、山の治水や保全などにも役立つとともに、紙の原料にもなります。資源を大切に有効に使おうとする一つのきっかけになってほしいと思います。

## 薬物乱用はダメ！ゼツタイ！！

同じく1日(火)には、相双保健福祉事務所の薬剤師・後藤さんにお越しいただき、6年生を対象に薬物乱用防止教室を行いました。まず、酒は時々適量なら大丈夫ですが、毎日飲み続けるとアルコール依存症になってしまうことや、タバコには200種類以上の有害物質が含まれていて、百害あって一利なしであることを教わりました。また、薬物というと覚醒剤や大麻などを思い浮かべますが、病院で処方された薬や市販薬でも、決められた用法を守らないで飲むと薬物乱用につながることも教わりました。福島県内では昨年、覚醒剤等の使用・所持などで126人が検挙され、そのうちの19人が相双地区で検挙されたそうです。再犯率もかなり高いので、「気持ちよくなるから」「やせるから」などの甘い誘惑に負けずに、最初からきっぱりと断る勇気を持つことも大切だというお話もありました。



《裏面もご覧ください》

# いつまでも健康な歯と歯茎でいるために



1日（火）には、歯科衛生士の和田さんと早川さんにお越しいただき、5年生とひばり・わかたけ学級を対象に歯科教室を行いました。この日は、歯肉炎と歯周炎について詳しく教えていただきました。現在では、大人の10人に8人は歯周炎にかかっているそうです。歯肉炎の段階では、早いうちならブラッシングなどに注意すれば自分で治すことができるのですが、歯周炎になってしまうと、歯医者さん

さんに行って治療を受けないと治らないそうです。それを防ぐためには、普段から歯茎の色や形、感触、出血の様子などに気を付けることが大切だと教わりました。また、正しいブラッシングの仕方や糸ようじの使い方も指導していただきました。いつまでも自分の歯でおいしく食事ができるようにするために、今のうちから実践することが大切ですね。



17日（木）は、本校教職員の研修のため全学年とも5時間授業となり、下校時刻は14時30分頃になります（バスは14時45分発）。上学年は普段よりも早い下校になりますので、帰宅後の過ごし方については担任からも指導しますが、けがや事故などのないように各ご家庭でも十分お気を付けください。